

3. 調査対象区域の景観に関する課題

調査対象区域内の景観面の課題としては、地域の魅力を支えている良好な景観資源の維持・保全とともに、良好な景観を生かしたまちづくりへの積極的な取り組みの推進が期待されます。

類型	現状の課題	将来の課題（懸念や期待）
市街地景観 (山根地区)	<ul style="list-style-type: none"> ○ えんとつ山の森林整備や森林環境教育を積極的に展開している「えんとつ山倶楽部」は、その活動が認められ、平成 29 年度「四国山の日賞 森整備部門」を受賞しており、継続的な活動が求められる。 ○ 地区のシンボルでもあるえんとつ山周辺の良好な景観の保全が必要と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 景観資源とその周辺の公共施設など、人が集まる施設をつなぐ面的な視点で捉えた良好な景観形成が期待される。 ○ 地区の一部が用途地域に指定され、市街地が形成されていることから、景観資源と調和した良好な市街地景観の形成が期待される。 ○ えんとつ山は山根地区のランドマークとなっているとともに、市街地への眺望の視点場となっており、視対象、視点場の両面から、良好な眺望景観を維持していくことが期待される。
近代化産業 遺産景観 (端出場・ 東平地区)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光資源として活用されているが、一部で荒廃化が進んでいる部分も見られ、適切な維持・管理を行うことで、良好な景観の保全が必要と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たに整備される施設について、近代化産業遺産として、周辺と調和した景観形成が必要と考えられる。 ○ 当該地区は、上位関連計画で観光・レクリエーション拠点に位置付けられており、観光拠点周辺の回遊・滞留につながるような良好な景観形成が期待される。
沿道景観	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光拠点周辺など好ましくない屋外広告物が一部にみられる。 ○ 別子・翠波はな街道等の主要観光ルート上の沿道景観の保全が必要と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光ルート周辺の集落には空き家がみられることから、良好な景観を阻害しないよう、適切な管理等が必要と考えられる。 ○ 観光ルート上の沿道景観について、一層の美化や、眺望ポイントの良好な景観形成が期待される。
自然的景観	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緑におおわれた豊かな自然環境や溪谷景観等、貴重な地域資源の整備・保全が必要と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部に不法投棄があり、自然的景観を阻害している面があり、将来の観光交流人口の増大に向けては、ごみの不法投棄防止等の強化が期待される。